

広島文学資料室サテライト展示

「ヒロシマを伝えるー装画と挿画」展示資料リスト

『小説集 夏の花』（ざくろ文庫）原民喜／著 能楽書林 昭和24年2月（藤川栄子／デッサン）
『夏の花』カット原画 藤川栄子／画
『夏の花』原民喜／著 晶文社 昭和45年7月（駒井哲郎／装幀）
『夏の花・心願の国』（新潮文庫）原民喜／著 新潮社 昭和48年7月（近藤弘明／カバー）
『屍の街』大田洋子／著 中央公論社 昭和23年11月（福沢一郎／装幀）
『人間檻樓』大田洋子／著 河出書房 昭和26年8月（中村研一／装幀）
『半人間』大田洋子／著 大日本雄弁会講談社 昭和29年5月（岡本太郎／装幀）
『夕風の街と人と』（ミリオン・ブックス）大田洋子／著 大日本雄弁会講談社 昭和30年10月（榎戸庄衛／装幀）
『管絃祭』竹西寛子／著 新潮社 昭和53年7月（近藤弘明／装画）
『儀式』竹西寛子／著 新潮社 昭和44年8月（岡本半三／装幀）
『絶後の記録』小倉豊文／著 中央社 昭和23年11月（向井潤吉／装画）
『広島悲歌』細田民樹／著 世界社 昭和24年12月（近藤浩一路／装幀）
『魔の遺産』阿川弘之／著 新潮社 昭和29年3月（高山辰雄／装画）
『浦島草』大庭みな子／著 講談社 昭和52年3月（池田満寿夫／装画）
『さんげ』（復刻版）正田篠枝／著 藤浪短歌会 昭和58年2月（吉岡一／口絵） 原本は昭和22年10月刊
『未来にまでうたう歌』米田栄作／著 ぶれるうど詩話会 昭和30年6月（福井芳郎／装幀）
『黒い雨』井伏鱒二／著 新潮社 昭和41年10月（塩出英雄／装画）
『原爆詩集』（復刻版）峠三吉／著 峠三吉没後30年記念事業委員会（四國五郎／装幀） 原本は新日本文学会広島支部・われらの詩の会 昭和26年9月刊
『原爆詩集』表紙原画（2点とも複製）四國五郎／画
『原爆詩集』（青木文庫）峠三吉／著 青木書店 昭和27年6月（赤松俊子／口絵 「原爆の図」デッサンより）
『夏の花』（新編雨の日文庫）原民喜／著 麦書房 昭和40年11月（丸木位里・丸木俊／絵）
『屍の街』（潮文庫）大田洋子／著 潮出版社 昭和47年7月（丸木位里・丸木俊／絵 「原爆の図」より）
『大田洋子集 第1巻』（全4巻のうち）大田洋子／著 三一書房 昭和57年7月（丸木位里・丸木俊／題字・装画〈原爆の図〉）
『日本の原爆文学 10』（全15巻のうち）ほるぷ出版 昭和58年8月（丸木位里・丸木俊／装画）
草稿「希いー原爆の図展によせてー」（複製） 峠三吉／著
『原爆の図』丸木位里・丸木俊／絵画 小峰書店 平成22年7月
『位里と俊』本橋成一／写真 オフィスエム 平成29年5月